

「N E D O懸賞金活用型プログラム／脳由来信号を活用した新システムの開発」に係る企画運営に関する調査

公募説明会

2025年 7 月23日

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
AI・ロボット部

はじめに

- 本資料は、主に「「NEDO 懸賞金活用型プログラム」基本計画」、「2025年度実施方針」および本事業に関する「公募要領」、「仕様書」等から抜粋して作成いたしております。
- ご応募に際しましては、公募ページに掲載しております関連資料をご確認頂きますようお願いいたします。

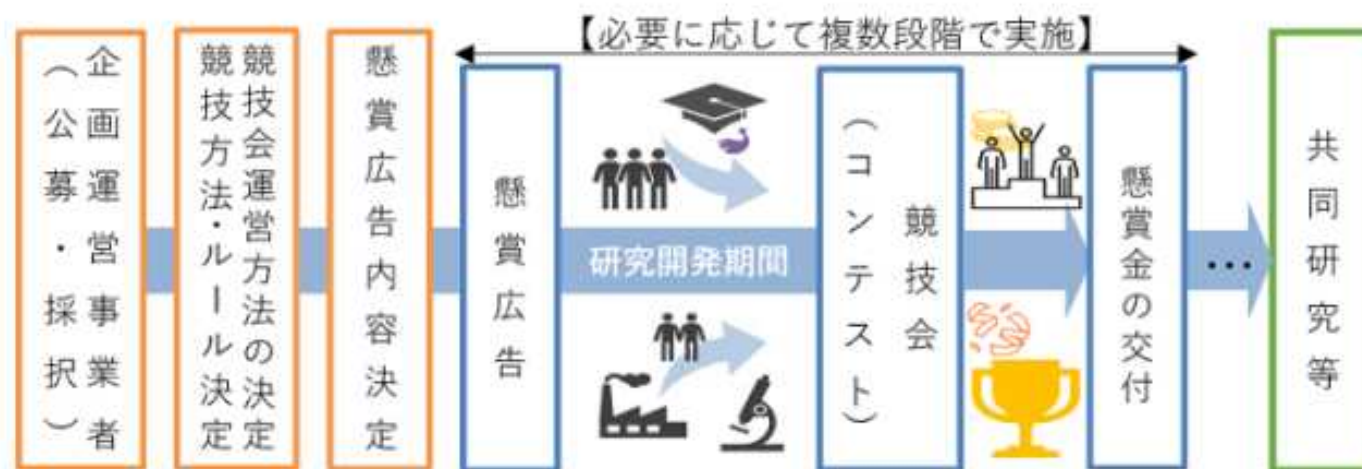
1. NEDO懸賞金活用型プログラムについて



NEDO Challenge

イノベーションを創出しその恩恵を社会課題の解決によって国民や社会に還元していくためには、従来にない先端技術を社会実装に至らしめるための適切な方策を推進することも重要です。「イノベーション循環の実現に向けた政策の方向性」（2024年3月6日 経済産業省 産業構造審議会 産業技術環境分科会 イノベーション小委員会）では、経済産業省が実施する研究開発事業において、国としてクリアすべき明確な目標を掲げ、特定の技術・手段によらず、研究開発の『成果』に報酬を支払う仕組みである懸賞金型事業を本格実施することとしています。懸賞金型研究開発事業は委託・補助と比べ、解決に向けたアプローチが定まっていないような課題への対応、課題解決に適した技術・アイデアを有する人材の発掘、企業に内在する技術を事業化のために洗練する機会として活用することが、有効であると考えられています。また、野心的な目標について、いち早く達成した者に対して大規模な懸賞金を支払う、世界でも類を見ないようなものも含め、今後、幅広い目的に活用していくこととしています。

そこでNEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）は、技術課題や社会課題の解決に資する多様なシーズ・解決策を懸賞金型の研究開発方式を通じて募り、将来の社会課題解決や新産業創出につながるシーズをいち早く発掘することで、共同研究等の機会創出、シーズの実用化、事業化の促進をねらう「NEDO 懸賞金活用型プログラム」“NEDO Challenge”を立ち上げました。



NEDO懸賞金活用型プログラムのスキーム

2. 事業概要



目的・背景

産業構造審議会 産業技術環境分科会 イノベーション小委員会）では、経済産業省が実施する研究開発事業において、国としてクリアすべき明確な目標を掲げ、特定の技術・手段によらず、研究開発の『成果』に報酬を支払う仕組みである懸賞金型研究開発事業を本格実施することとしており、諸外国においても、目標水準以上の研究開発成果を上げた上位数者に対して懸賞金を支払う仕組みを採用している。これらを踏まえて、「NEDO懸賞金活用型プログラム／脳由来信号を活用した新システムの開発」（以下、本プログラム）は、技術課題等の解決に資する多様なシーズ・解決策をコンテスト形式による懸賞金型の研究開発方式を通じて募り、将来の社会課題解決や新産業創出につながるシーズをいち早く発掘することで、事業化や共同研究等（※）の機会創出、シーズの実用化等の促進を目指して実施するものである。

将来的に**新たな市場の創出を目的として、非侵襲での脳由来信号の活用に資する課題を設定し、解決に求められる技術などを競うコンテストを実施**する。脳由来信号の活用については、医療やスポーツ、音楽などのエンタメ、マーケティングなど様々な分野での応用が考えられる一方で、その市場規模は現時点では限定的である。また、非侵襲における脳由来信号の活用等にあたっては計測データの精度や個人差など、様々な課題が存在する。このような現状を踏まえ、上記の目的達成に資する多様なシーズ・解決策を多く募ることを目的として本プログラムを実施するにあたり、調査を実施し、コンテスト等の企画運営を行うものである。

3. 調査委託内容



1. 課題に関する調査

(1) 成果の社会実装と市場展開を構想したうえで、短期に事業化や共同研究等につながるテーマの創出及び研究開発過程における体制構築が期待される課題とその目標水準設定のための調査

後述のコンテストが**非侵襲の脳由来信号を活用した市場創出に繋がるものとなるように課題テーマを決めるための調査**を行う。例えば、当該技術に関する社会的なニーズや潜在的なシーズ、関連技術等を調査すること。

(2) 成果の審査時に定量的な評価が可能となるような課題とその目標水準の設定のための調査

(1) で調査をした**社会課題の解決に資する成果が得られるような課題・目標水準について調査**をすること。

* 極力、定量的目標水準を設定すべく調査した結果として定性的目標設定とせざるを得ない場合、その理由を分析し、まとめること。

(3) アウトカム目標の実現に係る調査

技術課題や社会課題の解決に向けて、懸賞広告応募者と当該シーズのユーザーとの連携の機会を創出し、短期に事業化や共同研究等につながるように、**どのようなコミュニティを形成し、何年後にどのような事業化や共同研究に繋がる見込みなのか**を具体的、かつ論理的に示せるようにすること。

3. 調査委託内容



1. 課題に関する調査（つづき）

（4）他の競争的研究費でカバーされない内容とするための調査

（5）想定応募層、想定応募数の調査

（6）効果的な広報の企画・実施のための調査

特に（5）で調査をした想定応募層に広く着実に広告情報が届くことに加えて、**懸賞広告への応募を促すような訴求力のある広報の企画・実施**の調査をすること。

（7）懸賞金以外の応募者にとってのインセンティブ設定に係る調査

脳科学分野を専門とする応募者は当然のことながら、**脳科学分野に携わったことのない応募者にとっても例えば計測装置に触れる機会を提供するなど、新たなビジネスチャンスや知見・スキル等が身につくようなインセンティブの設定**に係る調査を実施すること。

2. 懸賞広告内容の検討

（1）懸賞金交付決定方法の検討

（2）懸賞金の配分方法の検討

（3）懸賞広告内容に関する調査・検討

上記1. および2. （1）（2）に加えて、懸賞広告内容に関する懸賞広告期間、応募様式・応募方法等応募に必要な事項、募集に係る説明会の開催方法、その他必要な事項について調査・検討すること。

なお、懸賞広告内容については広告を行う前に懸賞金交付等審査委員会で事前に承認を得ること。

3. 調査委託内容



3. 懸賞金交付等審査委員会の準備および運営

4. 広報および周知活動

(1) 懸賞広告の課題の趣旨やコンテストでの審査方法等、懸賞広告内容を周知するための**説明会を開催**すること。説明会スケジュールの検討、会場の確保、会場費含む諸費の支払、説明会の準備・当日の全体運営等を実施すること。

(2) 応募者である研究者等の競争を促進させ、モチベーションを向上させることを目的とし、**多数の応募者を募る**こと。

(3) 事業化や共同研究等につなげることを目的とし、**技術の実用化・社会実装を担いうる者に理解を得る**こと。

(4) 事業化や共同研究等につなげることを目的とし、応募者の意向に配慮しつつ**応募された技術を広く社会に周知**すること。

5. コンテストの企画運営

コンテストの企画に当たっては**一般の方に興味を持っていただけるような工夫をすることによって、集客力の高いコンテストとなるように企画**すること。

3. 調査委託内容



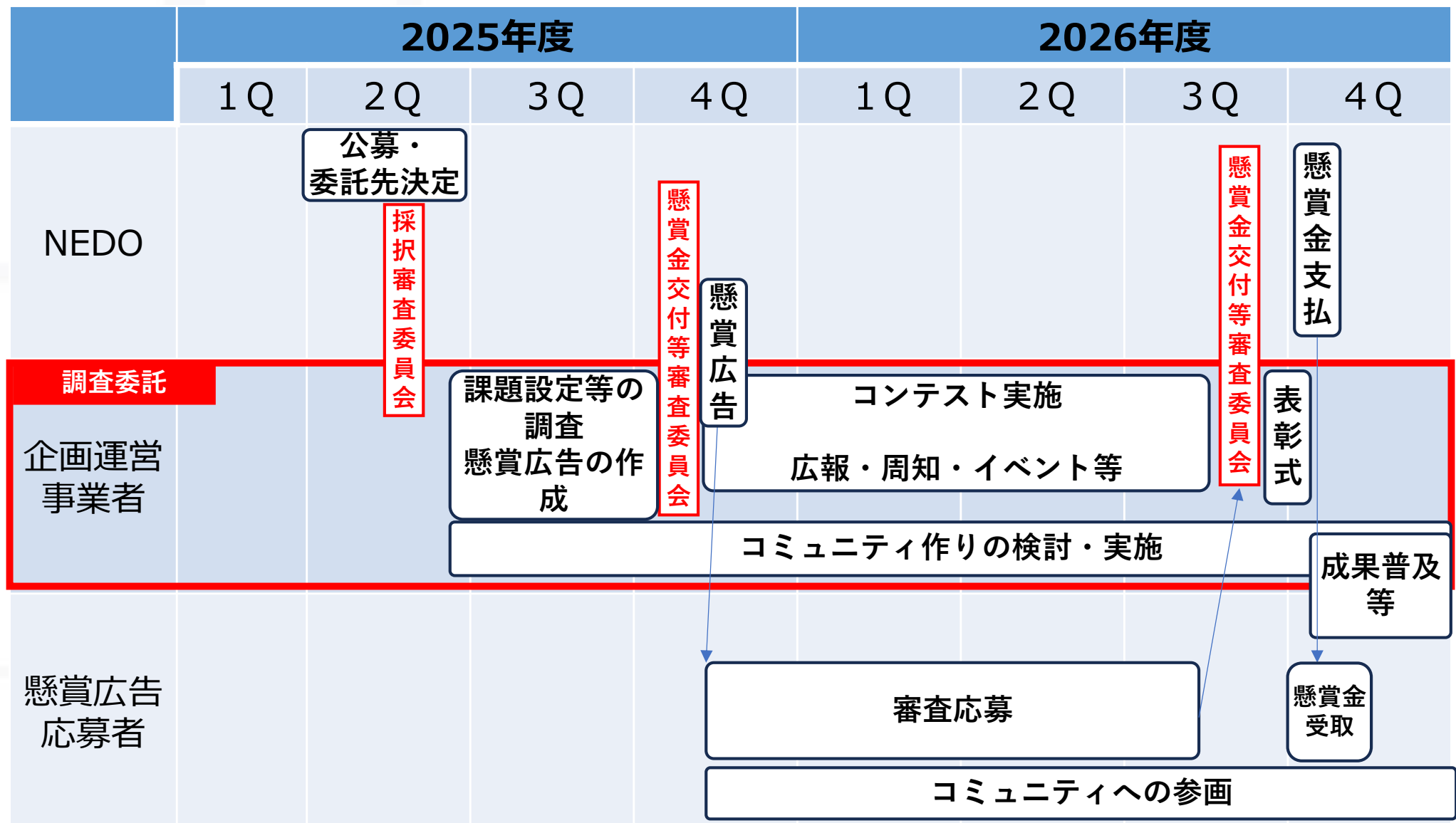
6. 表彰式の企画運営

7. 懸賞広告応募者の事業化や共同研究等の実現に向けた支援業務

応募者やユーザーに限らず、**脳由来信号に関わる専門家や関連分野の研究者などが継続的に情報交換や研究開発に向けた議論などができる既存コミュニティの拡大もしくは新たなコミュニティ作りを実施**すること。また、5. のコンテスト終了後に懸賞広告応募者と当該シーズのユーザーとの連携の機会を創出し、短期での事業化や共同研究等につなげることを目指した支援業務を実施すること。以下例示。

- ・ 応募者へ市場ニーズ、技術動向、特許動向等の情報提供等
- ・ 事業化等に繋げるため、応募者の意向に配慮しつつ、提出された成果を幅広く周知する機会を設ける
- ・ 広告期間中の応募者へのメンタリング、ワークショップ等の開催、等を企画し実施すること 等

4. 想定スケジュール（一例）



※上記のスケジュールは一例であり、課題設定の調査期間やコンテストの実施期間は上記で示した期間から変えることは可能です。

5. 事業期間・規模・報告書



事業期間

2025年度～2026年度

(NEDOの指定する日から2027年3月31日まで)

事業規模

2025年度～2026年度 合計1.5億円程度

※ただし、予算額は変動する可能性があります。

報告書・報告会

提出期限：2025年度終了時（最終営業日：2026年3月31日（火））
2026年度終了時（最終営業日：2027年3月31日（水））

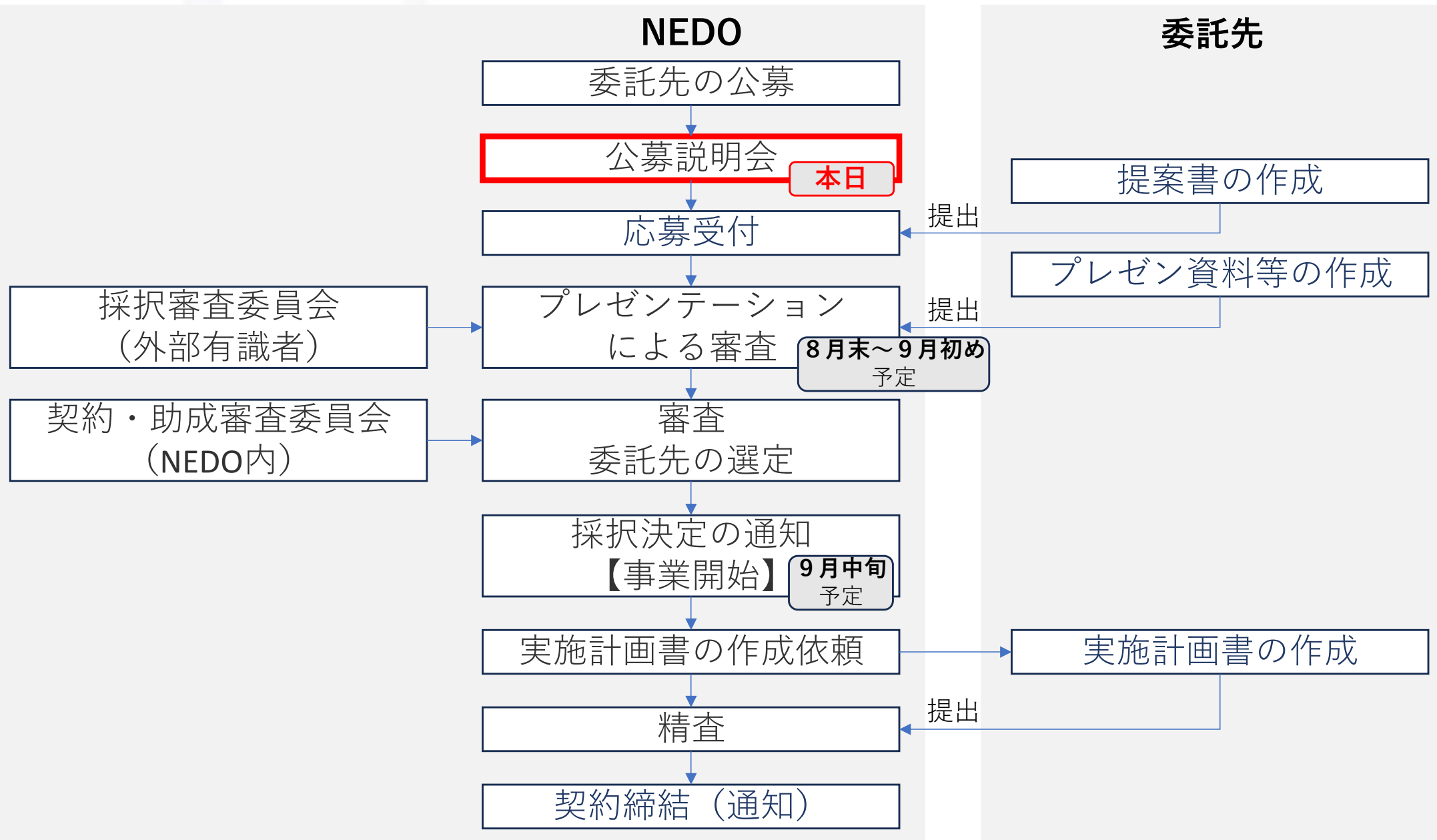
提出方法：NEDOプロジェクトマネジメントシステムにて提出すること

記載内容：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って作成の上、提出

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

また、委託期間中または委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがあります。

6. 審査スケジュール



7. 審査



1. 書面審査：応募×切り後～2週間程度

- 提案書には**審査項目への対応事項を明確にご記載**ください。
- 書面審査において、審査委員から質問・指摘事項等をいただきます。その内容を踏まえて2.の面接審査のご準備をお願いします。

2. 面接審査：8月末～9月初め頃を予定

- 面接審査では、提案内容についてプレゼンテーションおよび質疑応答をおこない、その内容を踏まえて審査します。
- 事前に書面審査において審査委員からいただいた質問・指摘事項等をお送りしますので、そのご回答もプレゼンテーションの中でご説明いただきます。
- 提案者は**Webミーティングからご参加**いただきます。
- プレゼンテーションで使用する資料は、**2営業日前までに提出していただく予定**のため、資料の内容についてはあらかじめ検討しておく必要があります。
- なお、プレゼンテーションの時間は応募数によって変動しますが、15～20分を予定しております。（質疑応答も同様の時間を予定）

8. 採択

審査後、NEDO内に設置する契約・助成審査委員会で最終的に採択決定し通知を行います。

審査の内容によって、実施内容や委託対象経費の変更等が「採択の条件」となる場合があります。

「採択の条件」に不服がある場合は申請を取り下げることができます。

採択決定以降、事業を開始することができます。

- ① 採択決定された提案者の内、会計監査人を設置していない会社には「200万円以上（税込）の見積もり・取引予定先一覧」を提出していただきます。
- ② 採択決定の通知後に、実施計画書が提出され次第、NEDOは契約の手続に入ります。
- ③ 各条件等の確認後、所定の文書手続を経て、NEDOが契約締結決定を通知します。また、一部の申請情報を基に、委託決定先の公表をいたします（応募者の氏名、委託先法人名、委託事業の名称及び委託事業の概要）。さらに、採択審査委員（評価者）の所属、氏名を採択決定後にNEDOのウェブサイト公表します。
- ④ **不採択の場合、不採択理由を添えてその旨を通知いたします。**
- ⑤ 必要に応じてニュースリリースを行う場合があります。**採択事業者が採択に係るニュースリリース等を実施する場合は事前にNEDO担当部までご相談ください。**

9. 応募要件



1. 日本の法人格を有する民間企業、大学・公的研究機関等であること。
2. 独立行政法人又は公益法人が、民間企業、大学、公的研究機関等と連携体制を構築する場合、他者に比べて優位性を有すること。
3. コンテストの企画運営又は関連分野に関する業務実績を有し、かつ、市場ニーズ、技術動向及び特許動向等の情報提供による支援ができる組織、人員等を有していること。
4. 当該委託業務を円滑に遂行するために必要な経営基盤、資金及び設備等の十分な管理能力を有し、かつ、情報管理体制等を有していること。
5. 委託業務管理上、N E D Oが必要とする措置を適切に遂行できる体制を有していること。
6. 複数の企業等が連名で応募する場合は、各企業等間の責任と役割が明確化されていること。
7. ブレインテック（※）に関する知見を有した者がいることが望ましい。

※ブレインテックは、脳（Brain）と技術（Technology）を組み合わせた造語。

脳科学や工学の知見・技術を組み合わせて開発されたシステムや製品・サービスを指す。

10. 審査基準



1. 企画運営等の目標が機構の意図と合致していること。
2. 企画運営等の方法、内容等が優れていること。
※特に課題設計方法の提案内容を重視します。
3. 企画運営等の経済性が優れていること。
4. コンテストの企画運営又は関連分野に関する実績等を有すること。
5. 当該企画運営等を行う体制が整っていること。
6. 経営基盤が確立していること。
7. 当該企画運営等に必要な人員等を有していること。
※「応募要件」に記載の通り、ブレインテックに関する知見を有した者がいることが望ましい。
8. 委託業務管理上NEDOの必要とする措置を適切に遂行できる体制を有していること。
9. ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況
10. 総合評価

その他「契約・助成審査委員会」の審査基準は、公募要領をご確認ください。

1 1. 応募手続き及び受付期限

NEDO本公募ページから必要な書類をダウンロードし、必ず受付期間内にWeb入力フォームから必要情報の入力と提案書類及び関連資料のアップロードを行ってください。

他の方法（持参・郵送・FAX・E-mail等）による応募は受け付けません。

本公募ページ

https://www.nedo.go.jp/koubo/CD2_100406.html

Web入力フォーム

<https://app23.infoc.nedo.go.jp/koubo/qa/enquetes/r59r41f76xq4>

受付期間

2025年7月14日（月）～2025年8月18日（月）正午 厳守

※応募状況等により、公募期間を延長する場合があります。

公募期間を延長する場合は、N E D O ウェブサイトでお知らせいたします。

※通信トラフィック状況等により、入力やアップロードに時間がかかる場合があります。

特に期限直前は混雑する可能性がありますので、余裕をもって提出してください。

12. 応募方法



- 提出先のWeb 入力フォームで以下の①～⑱を入力いただき、⑲⑳をアップロードしてください。
⑲にアップロードするファイルは、PDF形式で1ファイルのみ、⑳でアップロードするファイルは提出書類毎（全てPDF形式）に作成し、一つのzip ファイルにまとめてください。
なお、**アップロードするファイル（PDF、zip等）にはパスワードは付けないでください。**
- 提出時に受付番号を付与します。再提出時には、初回の受付番号を入力してください。
再提出の場合は、再度、全資料を再提出してください。
- 提出された提案書を受理した際には代表法人連絡担当者宛に提案受理のメールを送付いたします。

入力項目

- | | |
|----------------------------|--|
| ①提案名 | ⑪技術的ポイント（任意） |
| ②代表法人番号（13桁） | ⑫代表法人実施責任者 |
| ③代表法人名称 | ⑬連名提案法人名・再委託先法人名及び実施責任者名（複数の場合は、列記） |
| ④代表法人連絡担当者氏名 | ⑭利害関係者（任意） |
| ⑤代表法人連絡担当者職名 | ⑮連携体制（担当実施項目番号と法人名を入力） |
| ⑥代表法人連絡担当者所属部署 | ⑯実施期間（提案する実施期間を選択） |
| ⑦代表法人連絡担当者所属住所 | ⑰提案額（提案総額を入力） |
| ⑧代表法人連絡担当者電話番号 | ⑱初回の申請受付番号（再提出の場合のみ） |
| ⑨代表法人連絡担当者Eメールアドレス | ⑲提出書類（提案書）（提出書類のうち提案書をPDF形式にしてアップロード） |
| ⑩調査・企画運營業務の概要、提案方式・方法のポイント | ⑳提出書類（その他）（提出書類のうち提案書以外を一つのZIP形式にしてアップロード） |

12. 応募方法



提出書類

- ① 提案書（表紙、本文）
詳細は別添1参照
- ② ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況
詳細は別添2参照
- ③ NEDO事業遂行上に係る情報管理体制等の確認票
詳細は別添3・別添4参照
- ④ 会社案内（会社経歴、事業部、研究所等の組織等に関する説明書）（提出先のNEDO部課と過去1年以内に契約がある場合は不要）
- ⑤ 直近の事業報告書
- ⑥ 財務諸表（原則、円単位：貸借対照表、損益計算書（原価報告書、販売費及び一般管理費明細書を含む）（直近3年分）
※なお、審査の過程で、必要に応じて財務に関する追加資料の提出を求める場合があります。
- ⑦ 株主（社員）資本等変動計算書
※「株主（社員）資本等変動計算書」については、会社法で定める株式会社、合同会社、合資会社及び合名会社に該当する場合にのみ提出ください。
- ⑧ （該当する場合のみ）NEDOが提示した契約書（案）に合意することが提案の要件となりますが、契約書（案）について疑義がある場合は、その内容を示す文書
※契約書（案）：調査標準契約書 <https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/yakkan.html>
- ⑨ （該当する場合のみ）当該提案内容に関して、国外企業等と連携している、又はその予定がある場合は当該国外企業等が連携している、若しくは関心を示していることを表す資料

12. 応募方法



応募に関する注意

- 提出書類は日本語で作成してください。
- 再提出は受付期間内であれば何度でも可能です。同一の提案者から複数の提出書類が提出された場合は、最後の提出のみを有効とします。
- 登録、応募内容確認、送信ボタンを押した後、受付番号が表示されるまでを受付期間内に完了させてください。（受付番号の表示は受理完了とは別です。）
- 入力・アップロード等の操作途中で提出期限になり完了できなかった場合、受け付けません。
- 通信トラフィック状況等により、入力やアップロードに時間がかかる場合があります。特に、提出期限直前は混雑する可能性がありますので、余裕をもって提出してください。
- 公募要領「3. 応募要件」を満たさない者の提出書類又は不備がある提出書類は受理できません。
- 提出書類に不備があり、提出期限までに修正できない場合は、提案を無効とさせていただきます。
- 受理後であっても、応募要件の不備が発覚した場合は、無効となる場合があります。
- 無効となった提出書類は、N E D Oで破棄させていただきます。

応募に関する問い合わせ

応募に関する質問等は2025年8月13日（水）まで電子メールで受け付けます。
ただし、審査の経過等に関するお問い合わせには応じられません。

問い合わせ先

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）

AI・ロボット部 山垣、新

メールアドレス：braintechchallenge@nedo.go.jp

本事業を機に、脳由来信号分野を盛り上げて
いきたいと考えております！

皆様のご応募お待ちしております